

# 桂川っ子

VOL.14

## 育てよう、感謝の心を 持つ子どもたち

桂川町教育委員会  
教育長 佐谷 千香子

中学生の道徳で使用する「心のノート」に左記のような一文を見つめました。

「人間は互いに助け合い、協力し合って生きています。

この助け合いや協力を根底で支えているのは互いの「感謝の心」です。感謝の心は、潤いある人間関係を築く上で、欠かすことのできない大切なものなのです。」

今、感謝の気持ちが子どもたちに薄らいでいると言われていますが、私は保・幼・小・中学校の卒業式に参列して、どの式でも感謝の気持ちが表れているのを強く感じました。例えば保育所や幼稚園では、お家の方に、一人ひとりが卒園証書を渡

しながら「いつもおいしいお弁当を作ってくれてありがとう。」とか色んなお礼の言葉を思い思いに言っていました。

2つの小学校や中学校では、来賓の方や保護者へ一人ひとりがきちんと一礼し、先生方や地域の人へも感謝の言葉を述べていました。

桂川の町では、地域の方たちが大変な学校に支援してくださっています。1年間を通してたくさんの方のボランティアの方たちが、いろんな所で朝の挨拶運動をしてくださっています。また、下校時刻には地域の方たちが散歩しながら見守ってくださいています。青パトも早朝から町内を巡回してあります。

児童・生徒たちは、大きな声で「おはようございます。」と返しています。「いつもいつも、ありがとうございます。」とお礼を言いながら、頭を下げていく子もいます。とても気持ちのよいものです。地域全体で、人へ感謝できる子どもたちを育てましょう。

## 平成二十一年度の桂川中学校の重点

桂川中学校校長 山本 和生

桂川中学校では、学校教育目標及び目指す生徒の具現化に向けて、次の取組を重点として、教育活動を行っていきます。

### 学校教育目標

豊かな心を持ち、自らの生き方をよくよく導くことができる生徒の育成

### 目指す生徒像

- 意欲的に学び、確かな学力を身につける生徒（知）
- 自立心や思いやりの心を持つ心豊かな生徒（徳）
- 健やかでたくましい生徒（体）

### 取組の重点

- 一 コミュニケーションを重視した授業づくりを行い、学ぶ意欲と確かな学力の向上を図ります。

### 《少人数指導、コミュニケーション活動》

- 二 特別活動や総合的な学習の時間における体験活動を通して、社会性を育てるとともに、規範意識を高めていきます。

### 《職場体験学習、集団体験活動》

- 三 道徳教育・人権教育を充実させ、自他の大切さを認めることのできる、豊かな心の育成を進めます。

### 《ソーシャルスキル・トレーニング》

- 四 生徒が自らの行動や生き方を高めていけるように、日常的な指導の充実を図ります。

### 《あいさつ、朝の登校指導等日常生活》

このために、教職員の指導力の向上と信頼される学校づくりを進めていきます。また、学力向上の課題として、学ぶ意欲と確かな学力（社会で通用する学力）の育成にも重点的に取組みを進めます。家庭や地域におかれましても、中学校の教育活動へのご理解とご支援をお願いいたします。特に、基本的な生活習慣や家庭学習の習慣は、生き方にかかわるものです。ぜひ大切にしてください。